

精密工学会賞 第8回 (2012年度)

受賞者業績紹介

受賞者： 井川 正治 氏

井川正治氏は、1975年にトヨタ自動車(株)に入社以来、一貫して生産技術畑を歩み、各設備(旋盤、加工機、組付機)の自前化やNC加工機の3軸同時制御装置の開発を行った。1988年に受賞した大河内記念技術賞「中種中量フレキシブル生産システムの開発と実用化」、ならびに1999年に受賞した大河内記念生産賞「モータリングによるエンジン機能自動検査システムの開発」の一翼も担った。

CAD/CAM 開発、加工方法の置換技術の開発(歯切から転造への転換、異径スプライン・ねじの同時転造、他)、新加工法の開発(アブレード溶射技術の開発、ナイロン反応成形の開発、他)などに取り組み、金型加工から塑性加工に至るまで、幅広い分野で自動車の生産技術開発における先駆的な役割を果たした。さらに、加工セルラインや省人化のための組付自動ラインの構築、各工場でのムダの排除等、自動車産業のグローバル化への取り組みや生産ラインの標準化に尽力した。

学協会活動としては、精密工学会、型技術協会、日本塑性加工学会などで幅広く貢献し、2002～2003年に型技術協会会長、2008年に日本塑性加工学会会長を歴任し、また、2008年に精密工学会フェローとなっている。

以上のように、井川正治氏が自動車の生産技術分野に対する産業界、学協会の発展に果たした貢献は極めて大である。

1975年 関西大学大学院工学研究科修士課程機械工学専攻修了

1975年 トヨタ自動車工業株式会社(現トヨタ自動車株式会社)入社

2001年 同社取締役兼貞宝工場工場長

2003年 同社常務役員兼三好工場長・衣浦工場長・田原工場長

2004年 同社常務役員兼田原工場長・下山工場長・上郷工場長

2005年 同社専務取締役兼生産技術本部長

2009年 株式会社ジェイテクト取締役副社長(生技・生産・物流部門総括)

2010年 同社取締役社長(現在に至る)

精密工学会フェロー(2008年)